

戦争法案は廃案・撤回しかない

6月議会報告

砂田市議が主張

砂田市議 今度の戦争法案では、日本が攻撃されなくてもいいのに、他国への攻撃が日本の存立にかかわると政府が判断すれば、集団的自衛権の名のもとに海外で武力行使の道を開くことになる。アメリカが世界のどこでもあれ、イラクやアフガンのような戦争を起したときに、これまで自衛隊の活動地域を非戦闘地域に限るとした制限を取り払って、現に戦闘が行われておらねば、武器弾薬を補給する、空爆を行うジェット戦闘機に燃料を供給するという兵站活動を担うことになる。

憲法学者220名が、この戦争法案は違憲だと、撤回を求めている。市長は違憲と思わないか。

桜井市長 日弁連も憲法に違反するとの声明を出し、憲法学者としては憲法違反という見解が大勢を占めているという認識を持っている。我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増している。ぜひ国民の理解を得られるように、慎重に審議を進めていただきたい。

戦争法案反対の請願 小矢部市議会は否決

「平和憲法を壊す『安保法制』に反対する」請願が6月市議会に提出されました。新日本婦人の会小矢部支部(上田由美子支部長)が、市民80

滑川市長が反対表明

上田昌孝滑川市長は戦争法案反対を表明し、「しんぶん赤旗」のインタビューに応じ、70年間つづけてきた平和な日本の国民の努力を継承し「戦争しない国民の感性こそが、今とても大事な『こころ』まで歩み続けてきた平和の努力を変えてしまったら、戻れなくなる恐れがある」と語っています(8月1日付1面)。

明るい小矢部
No.188
2015年 8月号
発行 日本共産党
小矢部市委員会
小矢部市七社 245
砂田喜昭
TEL 67-4322
FAX 67-4842
日本共産党発行
しんぶん赤旗
日刊 3497円
日曜版 823円



「戦争法案反対」「憲法9条壊すな」とデモ行進する高橋渡共産党県書記長(前列中央)、火爪弘子県議(前列右)、砂田喜昭市議(前列左)ら＝7月11日、富山市

戦争法案「せつたい反対」! 市民運動広がる

7・11

許すな!戦争立法、怒りのアクション



県内でも戦争法案阻止の市民運動が広がっています。富山城址公園での「7・11許すな!戦争立法、怒りのアクション」に、約1000人が集まりました(写真左上)。

富山県母親大会が7月19日、射水市高周波文化ホールで開かれ、小矢部市からもお母さんたちが参加しました。

「介護のいまと、これから」分科会では消費税増税と介護保険の負担増に対して、「税金は、いったいどこに使われたのか、「オスプレイ」(米軍・垂直離発着輸送機)なんか買わなくていい」と、怒りの声が多く出されました。

名の賛同署名も添えて石田議長らに要請しました。砂田市議は6月議会でのこの請願に対して、「日本の若者が海外で『殺し、殺される』ことを容認するのが、いま市議会議員のみなさんにも問われている」と賛成討論をしましたが、他の議員が反対して不採択となりました。全国では戦争法案に「反対」「慎重審議」意見書が300議会採択されています。

女性たちも 各地で行動



「人を殺したくもなければ、殺されたくもない」

戦争を許さない女性のレッドアクションが7月25日、CIC前広場(富山駅向かい)で行われました。

平和への意思を示す赤いものを身に付けて、安全保障関連法案の廃案を求めてリレートーク、パレードが行われました(写真右上)。小矢部市の女性たちも参加しました。

女性たちは「戦争は嫌」「私たちは、人を殺したくもなければ、殺されたくもありません」と全国の各地で行動しています。

ひろば
沖縄県辺野古での新基地建設にむけた海底ボーリング調査を1ヶ月間中断するとのニュースが飛び込んできた。安倍政権がここに来て工事の中断を言わざるを得なくなった▼半月ほど前には突然、オリンピック会場予定地、新国立競技場建設計画を白紙に戻すと発表。その1週間ほど前までは見直しを拒否していたのに、である▼TPPの閣僚会議でも世界各国の反対世論の前に、「大筋合意がならなかった。安倍政権の公約破り、アメリカへ譲歩に次ぐ譲歩は許せないが▼いずれも国民が大反対していた問題だ。安倍自公政権は国会議席では小選挙区制のせいでも多数を占めているが、国民の支持はますます離れている。内閣支持率の急降下がそれを示している。これらの問題もまた解決したわけではないが、国民の運動と世論が確実に政府を追い詰めている▼かつて作家の宮本百合子は「わたしたちにとって恐ろべきことがあるとすれば、平和運動の意味と実力とを過小評価することである」と述べていた▼戦争法案をめぐる衆院を通過した時点でNHKは「成立の公算」と報じたが、とんでもない。若者やママたちの抗議行動はより大きくなっている。弁護士の本依伸さんは日本母親大会で「憲法とはなにかをかつてなく国民が自覚してきている」「シルズの若者たちは9条だけをなくすすべての条文を学んで発言している」と言っていた▼一人ひとりが声を上げ、つながることで未来はやってくる。草の根の力で成り立ちに追い込もうではないか。